

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高^{（注 1）}は、12,501 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注 2）}残高は 5,421 百万円となっています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	27 年 3 月末現在
農業	
穀作	1, 7 8 4
野菜・園芸	5, 1 0 0
果樹・樹園農業	7 3 8
工芸作物	4 6 3
養豚・肉牛・酪農	5 6 2
養鶏・鶏卵	2 2 5
養蚕	0
その他農業	3, 6 2 6
農業関連団体等	0
合 計	1 2, 5 0 1

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人及び農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	27年3月末現在
プロパー資金	8,318
農業制度資金	4,182
農業近代化資金	2,931
その他制度資金	1,251
合 計	12,501

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

種 類	27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	5,421
そ の 他	0
合 計	5,421

(注)

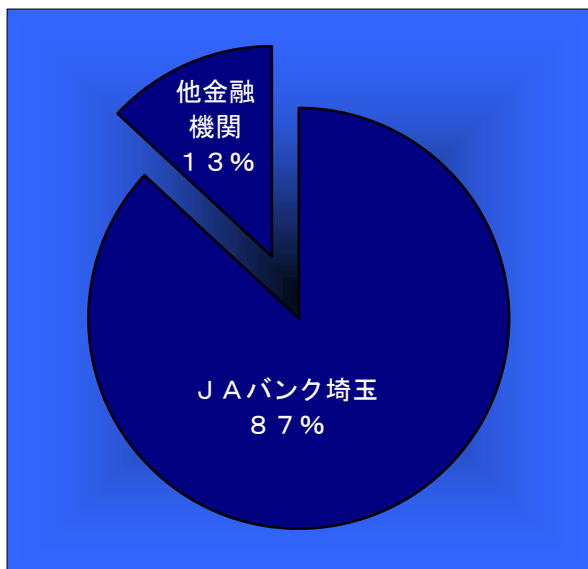
JAバンク埼玉では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク埼玉は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいてトップシェアとなっています。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫受託貸付の残高シェア】

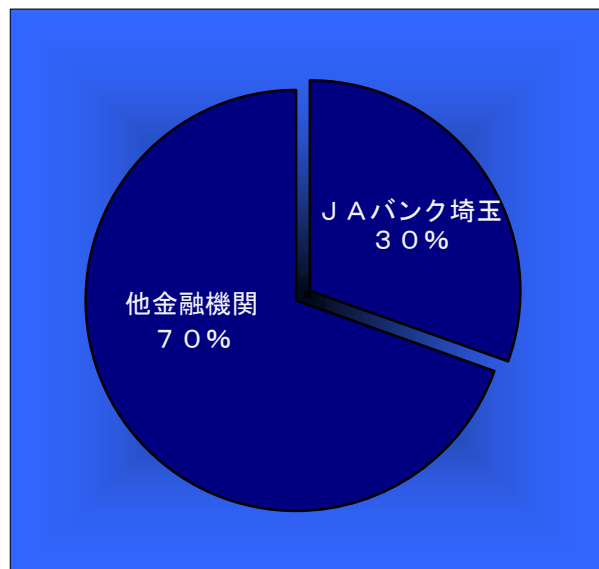
近代化資金

(平成26年12月末時点)



公庫受託貸付

(平成27年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

また、県内21 J Aの本店には35人(当会を含む。)の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

【具体的取組事例】

<農業資金相談窓口の設置>
担い手への対応強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫共催により「担い手向け農業資金相談窓口」を設置して、借入相談を実施しています。(J Aさいたま：5日間、J Aあゆみ野：2日間、J Aあだち野：2日間、J Aいるま野：2日間、J A埼玉中央：4日間、J Aちちぶ：1日間、J A埼玉ひびきの：2日間、J Aふかや：2日間、J A榛沢：1日間、J A越谷市：2日間、J A南彩：2日間、J A埼玉みずほ：8日間)
<農業資金活用促進のための研修会の開催>
融資担当者及び渉外担当者等を対象とした「農業融資担当者研修会」で制度資金の活用促進を図るため、農業近代化資金等制度資金並びに日本政策金融公庫資金の説明を実施しています。
<農業機械大展示会への参画>
県内J A、全農埼玉県本部等が主催となり、担い手農家等に対する生産資材コスト削減及び適正機械の導入・利用促進を図ることを目的に、「農機大展示会」を年2回開催しており、埼玉県信連はこの会に協賛し、農業融資商品のPR及び借入相談を実施しております。

(4) 生産者と消費者をつなげる場の設置

県やJ Aグループ等からなる彩の国食と農林業の祭典実行委員会では、生産者と消費者をつなげる交流イベントとして、「2014彩の国食と農林業『ドリームフェスタ』」(平成26年11月8・9日、所沢航空記念公園)を開催いたしました。

このイベントは、食と農林水産業をアピールするとともに、来場者・生産者の交流をはかり、県内農林水産業への理解を深めてもらうことを目的とした県民参加の催しであり、85,000人の方にご来場いただき好評を博しました。

J Aバンク埼玉は、当イベントの祭典実行委員会の構成員として参画しています。

< 2014 彩の国食と農林業ドリームフェスタ >



2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク埼玉は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残 高
就農支援資金	2	1 2	2 2 5
そ の 他	1	2 9	2 9
合 計	3	4 1	2 5 4

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 26 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善			事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A	
		支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b			Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c
正常先①		9	5	—	9	55.6%	—
要 注 意 先	うち その他要注 意先②	3	1	—	3	33.3%	0.0%
	うち要管理先 ③	—	—	—	—	—	—
	破綻懸念先④	1	1	—	1	100%	0.0%
実質破綻先⑤		—	—	—	—	—	—
破綻先⑥		—	—	—	—	—	—
小計(②～⑥の 計)		4	2	—	4	50.0%	0.0%
合計		13	7	0	13	53.8%	0.0%

注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成 25 年 3 月末時点でのものです。

(3) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを開催しています。また、セミナー開催後には個別相談も実施しており、お取引先様の相談ニーズに適切な対応を図っております。

【講演会・セミナー開催実績】

講演会名	主催者	参加 人数	個別相談会 参加人数	講演内容
J A相続セ ミナー	J Aさいたま	47名	6名	講師 J A埼玉県信連契約FP 題目「相続への備えと遺言の必 要性」
	J Aあだち野	84名	15名	
	J Aいるま野	85名	20名	
	J Aくまがや	21名	—	
	J Aふかや	12名	3名	
	J A花園	15名	1名	
	J A南彩	39名	14名	
J Aさいかつ	58名	—		
合計	8 J A	361名	59名	

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 26 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位 件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	1 0
その他	3	8	1 5
合計	3	8	2 5

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実 行金額
平成 26 年 2 月の大雪に対する農業災害資金対応	JAさいたま JAあだち野 JAいるま野 JA埼玉中央 JA埼玉ひびきの JAくまがや JAふかや JAほくさい JA埼玉みずほ	平成 26 年 2 月の大雪で被害を受けた農業者に無利子資金や低金利資金の対応	634	5, 554
自然災害復旧資金の対応	JAあさか野	無担保・低利による自然災害復旧資金	0	0
合 計			634	5, 554

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校817校へ、75,070セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下J A・信連では、下表のような食農教育や地域貢献活動の実践に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
J A戸田市	①近隣小学校へのバケツ稲の提供、②組合員支部向け料理講習会（購買品を使用）、③学校法人行事（さつまいも堀り）の助成、④農協まつり（野菜の販売）、⑤戸田収穫祭（行政からの出展依頼により購買品・野菜の販売）、⑥農産物即売（蕨支店にて、毎週土曜日9時より開催）
J A川口市	①地区内小学生以下と保護者同伴の「日帰り田植え・稲刈りツアー」実施
J Aあゆみ野	①農業融資相談会
J A鴻巣市	①農業体験学習（稲作、畑作）
J Aあだち野	①夏休みこども村、②農業体験学習（稲作）③稲刈り体験教室、田植え、④バケツ稲づくり、提供、⑤埼玉の子育て応援・家族のきずな応援・エコな暮らし応援適用者に対する住宅ローン金利軽減
J Aあさか野	①食農教育の出前授業、直売所での収穫体験（人参・トウモロコシ等）、稲刈り体験教室、田植え体験ツアー、バケツ稲作り、②学校給食への食材提供、③夏休みこども村の実施、④親子料理教室の実施
J Aいるま野	①農業体験定期積金の新規募集及び農業体験の実施、②緑のトラスト定期貯金の新規募集、③アグリキッズスクールの開催、④子供料理コンクールの開催、⑤子供向けスポーツ教室の開催
J A埼玉中央	①埼玉の家子育て応援・家族のきずな応援・エコな暮らし応援適用者に対する住宅ローン金利軽減、②食農教育（稲作体験学習・野菜の栽培管理）、③親子米作り教室、④社会科体験学習、⑤夏休みこども村、サマーフェスティバル、⑥農業融資相談会の開催

J A名	活動内容
J A埼玉ひびきの	①埼玉の家子育て応援・家のきずな応援・エコな暮らし応援適合者に対する住宅ローン金利軽減、②農機展示会での農業資金相談会開催、農業資金相談訪問巡回、③本店ローンセンターでの毎週土曜日（予約制）ローン相談会開催、④支店でのローンF S Tとローン相談会開催、⑤食農教育の出前授業（稲作体験学習・野菜の栽培管理）、農業体験学習（稲作・畑作）、稲刈り体験教室、田植え・梨収穫体験学習、社会科学習、⑥小学校運動会・地域スポーツ大会への記念品贈呈、⑦ちゃぐりんフェスタ、少年野球・サッカー大会開催
J Aくまがや	①親子稲作体験（田植え・稲刈り）、②食農教育・さつまいも植え、③食農教育・すいとん作り
J Aふかや	①農業融資相談会
J A榛沢	①小学生生徒（1、2、3年生）及び保護者を対象としたとうもろこし狩りツアー
J A越谷市	①バケツ稲づくり指導、②ねぎ植えつけ体験教室、③くわい栽培体験学習、④学校給食への食材の供給、⑤地域運動会へのお米の贈呈、⑥市内小学校に「ちゃぐりん」8月号贈呈、⑦農業資金相談会の開催、⑧ジャガイモ堀体験学習
J A南彩	①うまい米づくりコンテスト、②サマーフェスティバル、③新米フェア、④農業祭、⑤秋の稲刈り体験、⑥農業機械大展示会、⑦湯けむりセミナー、⑧年金受給者グランドゴルフ大会、⑨年金受給者の集い
J A埼玉みずほ	①小学生3から6年生を対象に夏休みこども村（平成26年7月30日～8月1日）を開催
J Aさいかつ	①住宅ローン・年金相談会（年4回）、②ふれあい祭り（7ブロック）、③年金友の会グランドゴルフ大会、④年金友の会ゲートボール大会、⑤共済友の会県外研修会、⑥共済友の会親子の集いサマーフェスティバル、⑦共済友の会親子の集い東京再発見の旅、⑧JA さいかつチャリティーゴルフ大会、⑨夏休みこども村、⑩さいかつ管内中学生職場体験学習、⑪さいかつ管内小学生社会科学習・施設研修会、⑫ブロック別くらしの活動（消防訓練、さつまいも堀り、地元野菜の料理実習試食会、枝豆祭り、田植え稲刈り体験、園児絵画創作展示会、小学生作品展示会）、⑬各行政別の農業祭等共催、⑭女性部日帰り県外研修、⑮婚活相談活動、⑯食農教育の出前授業（稲作体験・野菜の栽培管理）

【埼玉県パパ・ママ応援ショップへの協賛】

J Aバンク埼玉では、少子化対策として埼玉県が市町村・企業と連携して子育て家庭を応援する「パパ・ママ応援ショップ」事業に協賛し、子育て支援に取り組んでいます。

【パパ・ママ応援事業の活動内容】

J A名	具体的協賛活動内容
J Aさいたま	①住宅ローンの金利軽減
J A川口市	①住宅ローンの金利軽減
J Aあゆみ野	①住宅ローンの金利軽減
J A鴻巣市	①住宅ローンの金利軽減、②定期積金の金利上乗せ
J Aあだち野	①住宅ローンの金利軽減、②定期積金の金利上乗せ
J Aあさか野	①住宅・マイカーローンの金利軽減、②子育て応援定期貯金・定期積金の金利上乗せ、③お米の割引、④新規こども共済契約者に粗品プレゼント
J Aいるま野	①住宅・マイカー・教育ローンの金利軽減、②定期貯金・定期積金の金利上乗せ
J A埼玉中央	①住宅ローンの金利軽減、②定期積金の金利上乗せ
J A埼玉ひびきの	①住宅・マイカー・教育・リフォームローンの金利軽減、②定期貯金・定期積金の金利上乗せ、③お米の割引
J Aくまがや	①住宅・マイカー・リフォームローンの金利軽減、②定期貯金・定期積金の金利上乗せ
J Aふかや	①住宅ローンの金利軽減
J Aほくさい	①住宅ローンの金利軽減、②定期貯金・定期積金の金利上乗せ ③直売所における玄米の割引
J A越谷市	①住宅・マイカー・教育ローンの金利軽減
J A南彩	①住宅・マイカーローン金利軽減
J A埼玉みずほ	①住宅ローンの金利軽減
J Aさいかつ	①住宅ローン、小口ローンの金利軽減
J A埼玉県信連	①定期貯金・定期積金の金利上乗せ

<パパ・ママ応援ショップ>



【森林整備活動】

J A埼玉県信連は、公益社団法人埼玉県農林公社と協働し、森づくりを通じて地球温暖化や水源地環境の保全に貢献することを目的に、役職員が参加して「J Aバンク埼玉県信連の森」づくり活動（森林整備活動）を行い、森の再生を支援しています。

また、県内の平地林保護と落ち葉を活用した循環型農業支援のため、NPO法人埼玉森林サポータークラブと連携し、平地林整備作業にも取り組んでいます。

< 「J Aバンク埼玉県信連の森」づくり活動 >



埼玉県森林CO₂吸収量認証書

埼玉県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 松本俊一 様

平成26年度に貴会が森林整備活動を行った森林のCO₂吸収量について、
次のとおり認証します。

CO₂吸収量 31.4 t-CO₂/年

森林の所在	小牧野町三山字ツラツラ地内ほか
森林の種類	28年生 スギ林、29年生 ヒノキ林
森林の面積	計3.5ヘクタール
認証内容の有効期間	認証書交付日から平成28年3月31日まで
※ 考 慮 事	認証する森林成長は、天候や虫害によるCO ₂ 年間排出量に換算すると、99.9tに相当します。 この認証書は、申請者の社会貢献活動の証として、埼玉県が認証した森林のCO ₂ 吸収量として、広域活動等の活性化活動に活用することができます。

平成27年2月2日



埼玉県知事 上田 清司



埼玉県森林CO₂吸収量認証書

平成26年度の活動・支援により、埼玉県知事より、吸収量31.4 t (CO₂/年)の認証取得。

以上